

ご挨拶

(福) 光友会 いそご地域活動ホームいぶき

所長 みぞぶち たけし 溝渕 崇

いぶきは今年1月4日に開所20周年を迎えました。2025年度はこれまでの障害児者の地域生活を支える各事業の取り組みを振り返りつつ、培ってきた経験と専門知識を活用して将来に向けた新たなスタートを切る年となります。

福祉の歴史における障害者支援の現在地は、実践の積み重ねや学びによって様々な支援のあり方や方策が考えられ提供されていると言えます。この十数年においてはテクノロジーの導入も進められていて、これからの20年は更に見違えるような進歩を遂げているのではないのでしょうか。

このように予想をしながらも私たちの仕事は常に基本に立ち返ることを大事にしたいと考えています。

支援するにあたり重要なポイントとして客観性が求められるということがあります。その場のことだけに捕らわれるのではなく一歩身を引き冷静に対処することが継続性であったり改善の道筋につながったりすると考えられるからですが、時にその様はどこかしらクールに受け止められたり、割り切れない思いを生じさせたりすることもあります。

合理的に良く考えられた支援を提供することは大切なことですが、手法や手段を用いる支援者がどれだけ親身に対象者に寄り添いその思いに心を寄せることができているかという基本的な姿勢は忘れてはならないことだと肝に銘じておきたいと思っています。

いぶきだより vol.77 目次

1 ページ ご挨拶 2 ページ 日中活動成人式 3 ページ スポーツフェスティバル
4 ページ 地域防災講演会・職員異動入退職・職員のひとりごと 別紙 後援会会報

祝 御成人

2025年1月14日と17日に新成人となられた日中活動利用者2名の方のお祝いを行いました。お二人とも正装できりりとした姿で、式典会場に現れ、紅白幕の前では少し緊張した様子でした。しかし、所長からのお祝いの言葉に続き、同じグループの利用者さんから記念品を贈呈された際には、自然と笑顔がこぼれていました。また、同席されたご家族やグループの利用者さんと記念写真を撮影する場面では、会場からの温かい拍手や「おめでとう」の声があられ、終始和やかな雰囲気の中でお祝いすることができました。

あらためて心より

「御成人おめでとうございます！」





第1回 いぶきスポーツフェス 開催!!

いそご地域活動ホームいぶきの日中活動では、1月27日に磯子スポーツセンターにて第1回 いぶきスポーツフェスを開催しました。
 初めての試みなので気分を盛り上げるために、開催までに各グループでスポーツ旗を作成したり、競技練習をしたりと準備を重ねて本番を迎えました。
 いつもと違う広い体育館で、色々な競技を行い、みんなの笑顔があふれる一日でした。



みんなで近隣の磯子スポーツセンターへ、GO!



【パラバルーン】
 虹色の大きな布を音楽に合わせて皆さんで上げ下げしたり回ったり、スタートから大いに気分が盛り上がりました。



【玉入れ】
 二手に分かれて、散らばった玉を床の上に置いたカゴに「片付ける速さ」を無我夢中で競いました



【徒競走】
 皆さんが楽しみにしたパン食い競争スタイルで。本物は誘惑が大きいので作り物のパンでした(ごめんなさい)。



【ボーリング】
 着ぐるみを着た人間ピン(職員)に向かって大玉を転がしました。皆さん、とっても力が入っていました



【ボール渡し】
 二列に分かれ大玉転がし。どちらのチームも懸命に次の人に送り出し、楽しいひと時を締めくくっていただきました。



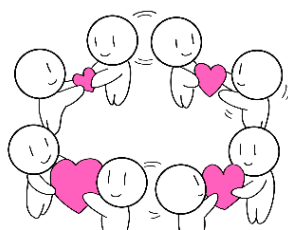
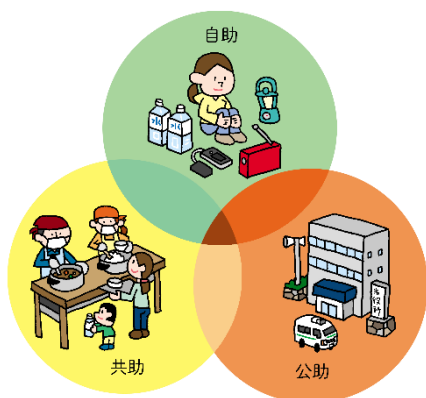


区連携事業 地域防災セミナー



去る2月17日(月)に区連携事業として「地域防災セミナー」を開催しました。昨年は大地震をはじめ、豪雨にも見舞われた1年となり、防災に対する関心が高まりを見せているなか、「公助」だけに頼らず「地域」による「共助」のあり方を見直そうという趣旨で、「地域防災」に関する第一人者である駒澤大学の川上富雄教授にご講演をいただき、102名のご参加がありました。

川上先生からは過去の災害の経験を元に、いざという時に高齢の方も障害のある方もみんなが安心して避難できる地域防災のかたちを教えてくださいました。防災対策は地域による特徴をふまえて考える必要があるため、まずは地域住民の「防災リテラシー(理解力・読解力)」を高める取り組みをして、自分たちの地域に合った防災を自分たちで考えていく土台をつくること、同じ地域で暮らしているという「共感原理」が大切なのだそうです。例えば、災害時に知らない隣人よりも、よく知っているご近所さんの方が、助け合おうという気持ちになります。それが「共感原理」であるという話でした。セミナーには障害のあるなしに関わらず、地域の色々なお立場の方々の参加があり、まさに「共感原理」が生まれる場となりました。



職員の入退職・法人内異動

入職：3月22日付(いぶき) ^{なかたに}中谷 ^{ゆうな}由奈 4月1日付(いぶき) ^{みなと}湊 ひなた
退職：3月31日付(いぶき) 蒲谷 貴行

職員のひとりごと



私は仲のいい友人と月に1回程、遊んで飲み会をします。私を含め4人で集まるのですが、学生時代から特に仲の良かった4人組だったので毎回飽きずに楽しく遊ぶことが出来ています。具体的にはボードゲームカフェに行ったり、ボウリングやカラオケをしたりして夜は飲み会をして解散します。



私は毎月友人たちと過ごす時間を励みにして日々、職場へと向かっています。社会人になっても高頻度で顔を合わせられる友人を持てて幸せだなあ、と感じています！

(日中生活支援 本田竜斗)